



二〇二〇 | 矢中の杜

NPO 法人“矢中の杜”の守り人 会報
CONTENTS 活動報告 P2 / 会計報告 P10 / ごあいさつ P11



6 部材を現場で加工・調整 7 木製フレームがはまりました 8-9 居間の柱時計の修理をお願いしたのは、もちろん坂入時計店さん 10 季節に応じて掛け軸も選びます

11 大王松の松葉を市松模様に並べていきます 12 今年も見事な敷松葉が完成しました 13 版築ベンチ用の土を運搬 14-15 守り人たちがワークショップで製作した版築ベンチの型枠を外すのは高校生の役目 16 型枠を外して露わになったベンチに感動です



「つくばね学」とは、体験しながら地域について学ぶという地元・筑波高校の独自カリキュラムで、矢中の杜では、毎年実習生の受け入れをしています。

2年生の後期から3年生前期まで続くつくばね学ですが、最初は緊張の面持ちの実習生達も、回を重ねるごとに矢中の杜にも慣れ、居間のこたつでリラックスしたり、それぞれが得意なことを生かしたりしながら、実習を楽しんでいる様子でした。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、途中、休止をすることもありましたが、昨年度に続き中庭を回遊できる小道の発掘や、奥庭にある大王松の落ち葉を拾い集めての「敷松葉」、「版築ベンチワークショップ」と「矢中の杜展覧会」の準備などもしていただきました。

これからも、邸宅の掃除やイベント準備など、邸宅の維持・活用をしっかりと支えてくれることを思います。

(守り人F)

お力を貸してください。

また、9月に、本館居間に雨漏りが発生したため、上部の陸屋根のコーキング施工を実施しました。他にも障子の張替え、玄関灯の修理、壁掛け振り子時計の修繕、所蔵の掛け軸の保存のための入れ替えなど、維持管理の内容も多彩でした。

(守り人N)

1 通気性抜群の邸宅は、安心して見学可能です 2 奥庭の大王松の松ぼっくりが大豊作 3 大きな大きな松ぼっくり 4 オーナー親子も顔を出してくれました 5 例年よりもゆったりとした時間が流れたようでした



2020年度の邸宅公開は、新型コロナウイルス感染症の拡大に合わせて、変更が多くありました。基本は毎土曜日11時から16時、加えて今年度から第2、4日曜の13時から16時と、日曜日の公開も始まりました。感染症への対策として、手指の消毒とマスクの着用、感染拡大防止システム「いばらきアマビエちゃん」を導入し、チケット配布・見学後アンケート・お茶のサービスの取りやめ、ガイドツアーの人数を減らす、団体受け入れの休止など、状況を見ながらの対応となりました。毎回悩みはしたものの大きな混乱もなく、スタッフとして参加する自分たちも注意しながら、来場の皆さんにも協力いただくことができました。

それでも緊急事態宣言の発出、茨城県からの外出自粛要請および独自の緊急事態宣言にそって、2020年3月7日～5月30日、11月28日～2021年2月28日までの期間、邸宅公開は休止しました。2020年度だけで、約5ヶ月の休止であり、口惜しくもありました。特に冬の休止期間は、寒さもあつたため、活動自体を最小限の維持管理にしたため、邸宅はひっそりとしてしまい、やはり保存には人の出入り

邸宅公開

が必要だと再認識することになりました。

見学者数は、合計1,018名(うち有料見学者数は766名)。矢中の杜展覧会の来場者数を除く通常の邸宅公開の見学者は、313名(1日平均8名程度)の来場でした。人の気配を感じながらもゆったりと、過ごしてもらえたなと思います。

(守り人N)

別館補強措置工事など

2019年度から調査を進めていた別館2階部分の庭園側への傾きへの対応として、7月28・29日、8月8日に補強措置工事を実施しました。伝統技法研究会にご協力いただき、現状をキープしつつ、見学の際の安全をできる限り確保することを目標に、工事内容を検討いただきました。施工は染谷工務店(つくば市北条)に依頼、柱など邸宅自身の部材は加工せず、建具の部分に補強のための木製フレームを設置しました。現在、杉のフレームと鉄筋のブレースが入り、見学のみ可能としています。

今後、別館迎賓棟の保存には、本格的な調査と大規模な修復が必要であり、引き続き伝統技法研究会に協力をいただきながら、検討を進めていきます。皆さんの協力が必要です。どうぞ

つくばね学

「つくばね学」とは、体験しながら地域について学ぶという地元・筑波高校の独自カリキュラムで、矢中の杜では、毎年実習生の受け入れをしています。

2年生の後期から3年生前期まで続くつくばね学ですが、最初は緊張の面持ちの実習生達も、回を重ねるごとに矢中の杜にも慣れ、居間のこたつでリラックスしたり、それぞれが得意なことを生かしたりしながら、実習を楽しんでいる様子でした。

今年は、新型コロナウイルスの影響で、途中、休止をすることもありましたが、昨年度に続き中庭を回遊できる小道の発掘や、奥庭にある大王松の落ち葉を拾い集めての「敷松葉」、「版築ベンチワークショップ」と「矢中の杜展覧会」の準備などもしていただきました。

これからも、邸宅の掃除やイベント準備など、邸宅の維持・活用をしっかりと支えてくれることを思います。

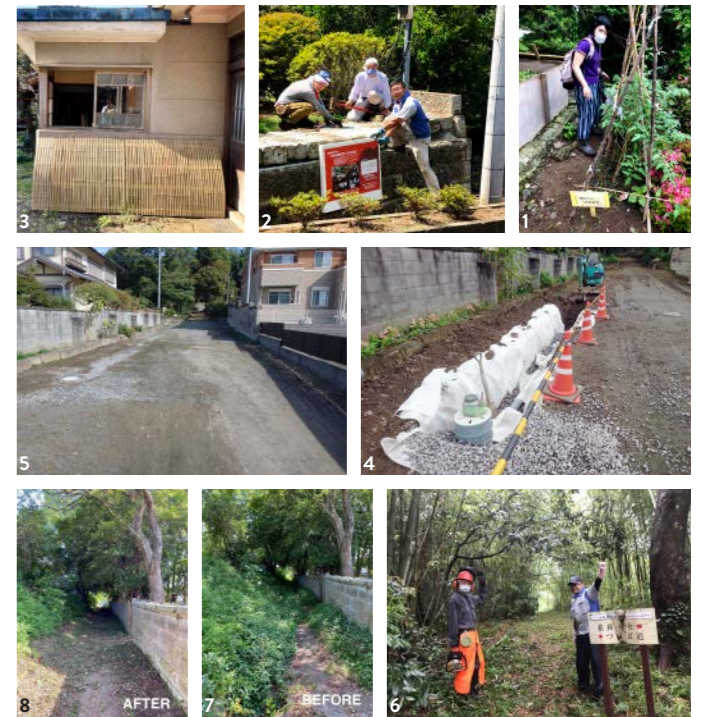
(守り人F)



15 矢中の杜の新しい顔となった版築塀 16 細長い型枠の中を突くのは簡単ではありません 17 半分まで出来上がったところで型枠を追加 18 上半分は脚立に乗っての作業です 19 黄色の層はもちろん山富貴酸化黄（やまぶきさんかおう）で色付け 20 土も矢中の杜の庭のものを飾って使いました 21 筑波山をモチーフにした塀には“弁慶七戻り”に見立てた雨水の通り道も 22 登録有形文化財のプレートもしっかり塀に埋め込まれました



9 完成した版築ベンチ2台 10 型枠から制作しました 11 土を突き固めて重ねていきます 12 筑波山の山頂部分となる山富貴酸化黄（やまぶきさんかおう）を直接かけました 13 途中しっかり踏み固めて！ 14 最上面はコテでつるつるに仕上げます



1 奥庭でのトマト栽培 2 奥庭の石塀に看板を設置 3 切り出した竹から制作した犬矢来（いぬやらい） 4 表アプローチに雨水浸透施設を埋め込む工事を実施 5 排水工事後ぬかるみは改善されました 6 おそらく100本以上の竹を伐採し、お稲荷様への小道が開通 7 小道の除草作業前 8 除草作業後いい散歩道となりました

庭園の整備・管理

発足3年目となる庭倶楽部の活動は今年も元気でした。邸宅公開がお休みの期間にも「どんどん伸びる草との闘いは「要」で「急」ですな」と言いながら、各自持ち場を決めて黙々と草取りをして、ストレス発散にもなりました。

今年度は、表アプローチから前庭・中庭・奥庭まで歩いて楽しい「通り庭」として整備することをテーマとして、ハウジングアンドコミュニティ財団より「住まいとコミュニティづくり活動助成」をいただきました。応募当初の予定から変更しながらではありますが、助成のおかげで、雨天時にぬ

かるんで通りにくかった表アプローチの雨水排水工事や、矢中の杜の雰囲気にか合う版築ベンチと版築塀を製作するワークショップを実施することができました。

さらに敷地内を飛び出し、旧北条小の門の脇からお稲荷様へと続く小道の再生にも取り掛かりました。背丈ほどの草や、竹が塞いで全く通れなくなっていた小道が1年間の整備で信じられないほど明るくしっかりと道になりました。切り出した竹からは犬矢来や衝立、サイクルスタンドまで製作しています。版築塀のある入り口を入って、邸宅を見学し、奥庭の木戸から出てご近所の散歩道を散策していただける日が来るよう、引き続き整備を頑張りたいと思います。（守り人Y）

版築ベンチ製作ワークショップ

9月19日(土)と20日(日)の2日間、版築ベンチワークショップを開催しました。版築とは、土を突き固めて重ねていく古くからの技法で、6月に東造園さんの現場で体験して学んだ4名が技術を持ち帰り、自分たちだけでやってみようという試みでした。夏から型枠作りや土ふるいの準備を進め、前日にはつくばね学でマサ土を運んで準備完了となり、当日を迎えました。

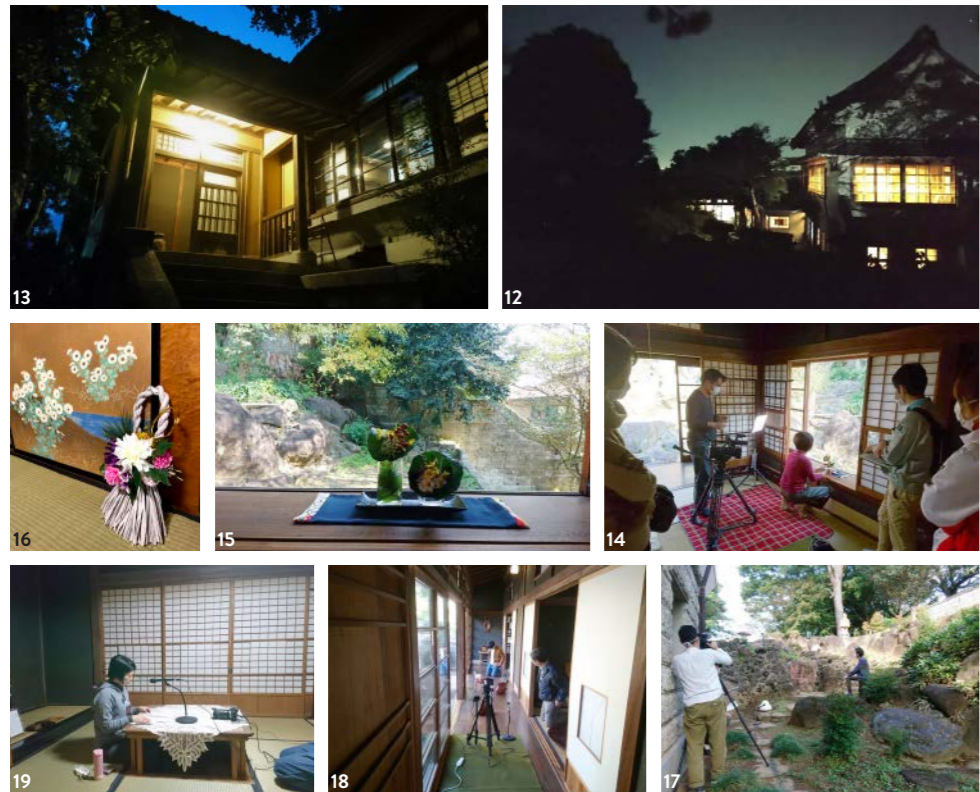
ワークショップは残暑の中でしたので、タープも張って熱中対策もしました。ミキサーによる土の混合は東造園さんで学んだ守り人が中心になって行い、土を突き固めて形を作る作業に参加者全員で交代しながら行いました。ときおり民謡も歌いつつ、和やかな雰囲気が進みました。所々に変わった色の石や邸宅の磚子で飾る遊び心も入っています。山富貴酸化黄に縁取られた筑波山も描かれ、矢中の杜らしさ溢れるベンチ2台が仕上がりました。守り人のほか、別の地域で建造物の保存活用をしている方たち、大学生グループや外国の方など、のべ35名の参加がありました。翌週のつくばね学で最後の仕上げとして型枠を外し、パトンをつなぐように連携できたことも大変有意義でした。腰かけてゆつくりと奥庭を楽しめるようになりました。（守り人K&Y）

版築ワークショップ

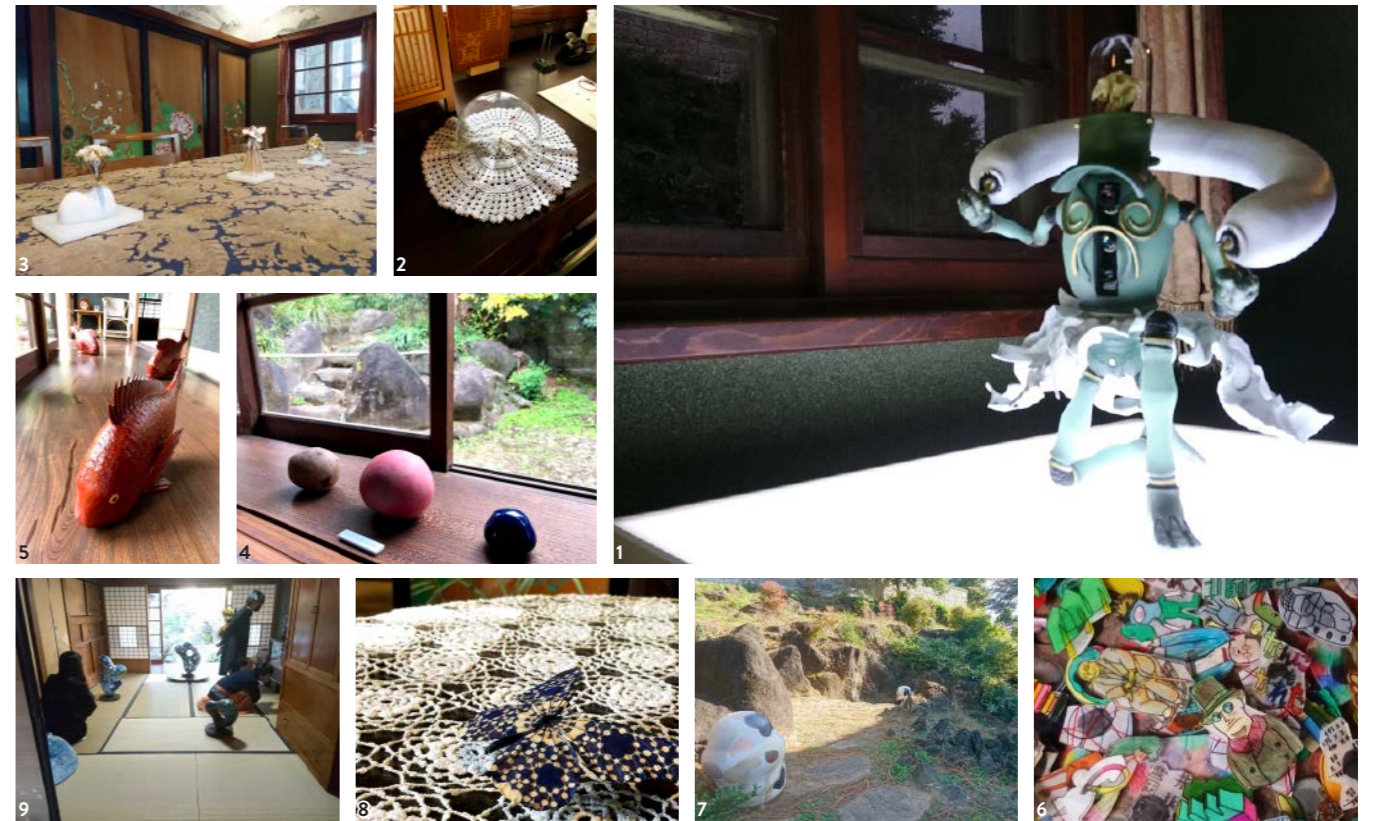
2021年3月27日(土)、お天気も良く爽やかな朝から活動は始まりました。以前から長いこと渴望していた塀作りがとうとう助成事業の一環として実現する日が到来したのです。参加は一般の方6名を含む総勢16名となりました。（皆さんがどれだけ待ち望ん

でいたかよく分かる大所帯です。）前に版築ベンチワークショップで経験があるものの、今回は矢中の杜の顔である入口の塀を作るとあって、守り人会員でもある東造園さんを講師に迎え、基礎作りまでをしっかりと行っていただき、そこからのスタートとなりました。ベンチで土作りに参加したスタッフは土作り中心で作業を行い、それ以外の参加者は主に土固めを行いました。みんな真剣な面持ちで隙間がない様しっかりと棒で突き固めていきます。夢中で作業しているうちにあつという間にお昼タイム、しっかりと水分補給して午後の作業に挑みます。途中邸宅公開に来てくださったお客様にも飛び入りでご参加いただきました。

次々と土の色が替わりどのように模様が出るのか楽しみにしているうちにあつという間に終盤の筑波山の頂を模した部分に突入、東造園さん指導のもと仕上げをし、とうとう完成したのでした。近隣の方にも参加頂き、矢中の杜の代名詞でもある山富貴酸化黄が使われ、とても矢中の杜に相応しい素晴らしい塀が出来たのではないかと思います。この塀がたっくんの方と矢中の杜を結びつけてくれることを切に願っています。（守り人M）



11 矢中の杜展覧会会期中の夜に開催されたディオゲネスクラブ。暗闇で作品が浮かび上がります 12 矢中の杜もまるごと作品のよう 13 思い思いに過ごした静かな夜 14 フラワーアレンジメント動画の撮影 15 矢中の杜の庭園から採取した花材で素敵にアレンジ 16 正月飾りワークショップはおめでたい雰囲気 17 庭園での動画撮影の様子 18 本館廊下でのインタビュー撮影 19 座敷が録音スタジオに



QRコードより動画ページにアクセスできます！
 左 YouTube「矢中の杜展覧会ができるまで」
 右 NPO ブログ記事 インタビュー部分ノーカット版

邸宅利用

今年、「ディオゲネスクラブ」「正
 版 (https://www.yanakanomori.org/?p=7864) もぜひご覧下さいませ。
 (守り人S)



1 別館1階に舞い降りた風神色の陶器の作品鑑賞 2 邸宅全体を時計と鈴の音による影の作品鑑賞 3 食堂にはももやまの作品鑑賞 4 庭園を眺める作品鑑賞 5 廊下を泳ぐ作品鑑賞 6 作品には龍次郎さんの作品鑑賞 7 庭に鎮座する陶器の作品鑑賞 8 書斎のレースに擬態した作品鑑賞 9 畳に座って作品鑑賞 10 井戸を巨大タコが占領

矢中の杜展覧会

2020年10月22日(木)〜11月8日(日)の12日間(月・火・水は休)、企画提案者であるネオつくばプロジェクト山中周子氏と共同で現代美術の展覧会を開催しました。来場は12日間で705名と大変盛況で、矢中の杜の新たな魅力を感じることもありました。この展覧会は「つくば北条アートプ

動画による情報発信「矢中の杜展覧会ができるまで」

つくば市のオンライン文化芸術奨励事業・アート鑑賞動画製作部門の公募に採択され、「矢中の杜展覧会」の開

催にあわせて、「矢中の杜展覧会ができるまで」という動画を、北条の「よしや写真館」さんご協力のもと、作成しました。動画の内容は、邸宅の紹介(ナレーション守り人S)とともに、矢中の杜展覧会に出展した作家の中から5名の方が、どのような視点で作品を展示したのか、作家本人が語るというものでした。YouTube「つくばアートチャンネル」(https://www.youtube.com/watch?v=Y7ZAxHZZZ6M)で見ることができ、この動画、時間制限の都合で短く編集されていて、実は編集前は、インタビュアーとして、ネオつくばプロジェクトの山中さんとともに、北条の宮清さんが美術専門家ではない立場からストレートな質問をぶつけて、作品への想いや製作の話など、みんなが聞きたかったことを美術家の皆さんからバッチリ引き出してくれています！これを見たら、作品の見え方がガラッと変わるかも!? 矢中の杜のホームページの守り人ブログ(2021年2月13日)にあるノーカット版 (https://www.yanakanomori.org/?p=7864) もぜひご覧下さいませ。(守り人S)

様々なイベントが中止になる中、開催時期が感染症の拡大が比較的収まっていた時期であったのも幸運でした。来場者には感染症対策に協力してもらいながら、邸宅内や庭園を散策していただきました。貴重な秋になりました。(守り人N)

「ディオゲネスクラブ」は、集まっているのに他の参加者と全く交流しないという、ユニークな企画。コロナ禍の今にとってもびつたりで、参加者の皆さんは、それぞれ思い思いの時間を静かな夜の矢中の杜で過ごされたようです。

ここ数年、年末に行われていたクリスマス作りは、正月飾りワークショップに変えてのご利用でした。参加者2名でしたが、参加者同志いろいろ相談しながらゆつたりと楽しんでいただき、素敵な正月飾りができあがりました。

文化芸術奨励事業の動画撮影日は天気にも恵まれ、邸宅の庭にある花材を使って、矢中の杜らしいフラワーアレンジメント動画 (https://www.youtube.com/watch?v=fj1UZYU1Y10) ができあがりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、本年は例年通りの邸宅利用はありませんでしたが、今後も矢中の杜の保存活用のため貸し出しを行ってまいります。で、よろしくお願いたします。(守り人F)

活動履歴

年	月	日	場所	活動内容
2020	3	7	矢中の杜	3月7日から5月30日まで邸宅公開の休止 少人数での邸宅整備の実施
	7	28	矢中の杜	住まいとコミュニティづくり活動助成 「第3回住まい活動助成事業研究交流会」にリモート参加
	7	29	矢中の杜	7月29日、8月8日 別館2階補強措置工事の実施
	7	30	矢中の杜	～8月21日 表アプローチの雨水排水工事の実施
	8	9	矢中の杜	玄関灯器具の修理
	8	9	矢中の杜	～8月23日 本館居間振り子時計の修理
	8	10		～8月16日 夏季休業
	8	29	矢中の杜	「住まいとコミュニティづくり活動助成成果発表会（2019年度） & まちづくりNPO交流の集い」にリモート参加
	9	11	矢中の杜	～2021年2月5日 筑波高校「つくばね学」の実習受け入れ
	9	19、20	矢中の杜	奥庭にて 版築ベンチ制作ワークショップ
	9	26	矢中の杜	邸宅利用「ディオゲネスクラブ」開催
	10	6	矢中の杜	～11月23日 動画「『矢中の杜展覧会』ができるまで」の制作
	10	22	矢中の杜	～11月8日「矢中の杜展覧会」 (つくば北条アートプロジェクト pilot版として)開催
	11	6	矢中の杜	邸宅利用「ディオゲネスクラブ」開催
	11	17	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメント Emi ワークショップ動画」撮影
	11	28	矢中の杜	～2021年2月28日まで邸宅公開の休止
	12	5	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメント Emi ワークショップ」開催
	12	12	筑波交流センター	つくばね学発表会への参加
	12	20	矢中の杜	年末大掃除
	12	21	—	～2021年1月7日 年末年始休業
2021	2	14	筑波山麓地域	守り人満喫デー 蚕影神社など山麓地域へ
	2	25	筑波交流センター	つくばね学中間報告会への参加
	3	19	矢中の杜	～3月26日 版築塀型枠工事
	3	27	矢中の杜	表アプローチにて 版築ワークショップ

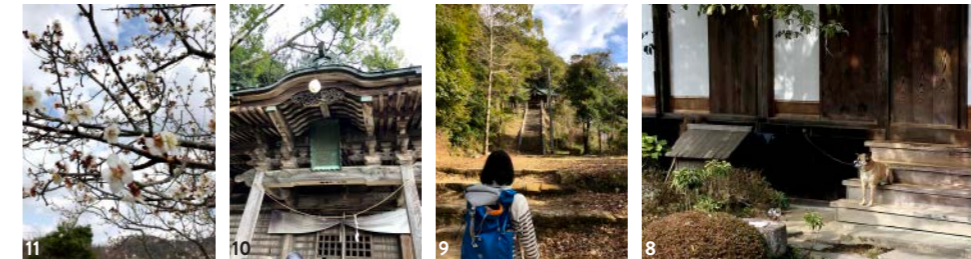
主なメディア掲載

年	月	日	掲載誌など名称	掲載内容
2020	6	17	茨城新聞 WEB版	邸宅公開再開の紹介記事
	8	31	市民活動センター通信「ぴよ 61号」	コロナ禍での活動状況についての記事
	9		イベントカレンダー10月号	「矢中の杜展覧会」開催告知 + ボランティア募集
	9		eexpress10月号	「矢中の杜展覧会」開催の紹介
	9		eexpressWEB版	「矢中の杜展覧会」開催の紹介
	10	10	常陽リビング お散歩マップ秋号	「矢中の杜展覧会」開催の広告
	10	16	読売新聞（地域面）	Friday いばらきにて「矢中の杜展覧会」開催の紹介記事
	10	20	つくば経済新聞（WEB）	「矢中の杜展覧会」開催の紹介記事
	11	3	茨城新聞（地域総合面+ WEB版）	「矢中の杜展覧会」取材記事
	11		つくば市公式「つくばファンクラブ」	「矢中の杜展覧会」の紹介動画
	11	30	いきいきシルバークラブ 「つくば 第5号」	表紙にて矢中の杜の紹介
	12		研究学園まちづくり広報紙 「ひろば」第18号	「ギャラリーひろば」にて矢中の杜の紹介
	12		TX 沿線オンラインクイズラリー	矢中の杜の紹介とクイズの動画
2021	2		観光いばらき IBARAKI Standard: 筑波山周辺ガイド「つくば道」編	矢中の杜の紹介
	3	18	日経新聞 (43面・北関東経済面+ WEB版)	「エコーいばらき」環境基金、助成団体として 「矢中の杜」の守り人の紹介

NPO 会員数（令和3年3月31日現在）

正会員 18名 / 友の会会員 26名 / 賛助会員 8名 計 52名

1 一年の感謝の気持ちを込めて神棚を綺麗に
2 香炉の灰をふるいました 3 窓ガラスの掃除
4 障子も張り替えて、気持ち新たに新年を迎えます
5 掛け軸にも思いを込めて



6 道先案内人は宮清さん 7 神郡の普門寺に立ち寄ります 8 ワンちゃんが疲れを癒してくれました 9 蚕影神社までこの長い階段を上ります 10 蚕影神社本殿 11 梅の花香る、穏やかな一日でした

年末大掃除

毎年恒例の年末大掃除は12月20日（日）に行いました。本年は、午前中のみの短時間に少人数で、そしてマスク着用とこまめな手指消毒の徹底、掃除箇所も本館と陸屋根、奥庭の整備のみとしました。本館では、各部屋の掃き掃除、廊下の糠雑巾がけ、窓ガラス磨き、障子の貼替え、そして居間の仏壇の香炉の灰をふるい、お線香の残りを取り除き、綺麗な灰に戻したり、神棚の神具をひとつひとつ布で拭いたり、邸宅を守り続けて下さっている神様仏様に感謝の気持ちを込めてお手入れしました。陸屋根と奥庭では、落ち葉の掃き掃除などをして、腐葉土になるものを堆肥場に混ぜ込みました。最後に、一日も早く新型コロナが終息して平穏な日々が戻りますようにと願いを込めて、掛軸を別館2階は阿弥陀如来尊像に、本館座敷は虚空蔵菩薩図に、掛け替えました。どうか来年度は皆で賑やかに開催できますように。
(守り人S)

守り人満喫デー
「蚕影神社など筑波山麓散策」
2021年2月14日（日）、頑張りすぎず、のんびり散歩を楽しみながら

矢中の杜の近くのことをもつと知ろうをコンセプトに守り人満喫デーが開催されました。総勢5名の気楽な感じで矢中の杜からスタートしました。北条の地理に明るい宮清さんを道案内人として、近いのに今まで通ったことのない道を季節の花を愛でながらゆるゆると進みます。途中梅林を通り過ぎた時は梅の芳香に包まれ幸せな気分になりました。山の麓を歩いていくとやや小高いところに建てられた普門寺に辿り着きました。日頃の運動不足が階段がちよつとこたえましたが何とか到着、可愛いワンちゃんにご住職に迎えられる、お参りすることが出来ました。引き続き歩を進めると突然素晴らしい版築塀のお家を発見！ みんなでとっさに駆け寄り一般のお宅にも関わらず、しげしげと眺めてしまいました。わいわいと立ち寄りしつともようやく目標だった蚕影神社に到着。こちらも小高いところに建てられていて見上げただけで心折れそうになりましたが皆んなで励まし合い、少しふらふらになりながら本館まで辿り着いたのでした。神社は少し風化していて敷地の一部は崩落していました。神社の由来や時の流れに心馳せながら由緒ある神社を後にしたのでした。
(守り人M)